

授業科目 臨床実習Ⅲ (8週)

【担当教員名】 渋谷直樹および学科全教員		対象学年 4	対象学科 言語
		開講時期 前期・後期	必修・選択 必修
		単位数 8	時間数 360
<p>【&lt;概要&gt;又は&lt;一般目標：G I O&gt;】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学外総合実習である</li> <li>・ 学内セミナーを実習の前後に行う 事前セミナーでは、障害領域での評価、指導法、効果評価法を学習、演習する</li> <li>・ 事後セミナーでは、症例報告書の書き方および症例の口頭発表を行う</li> </ul>			
<p>【&lt;学習目標&gt;又は&lt;行動目標：S B O&gt;】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語聴覚障害の治療（指導）に必要な基礎知識や医学的知識と臨床技術との統合をはかり、言語聴覚士としての技量を養成する</li> <li>・ 将来言語聴覚士を志すものとして、指導の現場で、評価、指導計画、指導の一部を実際に体験する</li> <li>・ 実習で体験した症例を報告書にまとめ、かつ口頭発表する</li> </ul>			
回数	授業計画又は学習の主題		SBO
			番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1) オリエンテーション 事前学習・演習	評価・診断、治療・指導計画案 治療・指導方法とその効果評価方法の文書の書き方		学内・セミナー
2) 学外実習	病院および施設実習 評価、診断、治療、計画、実際の治療の一部を体験する		学外・配属実習
3) まとめ 専語学習・発表	症例報告書の書き方 症例報告の口頭発表		学内・セミナー
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所> <発行年・価格・その他>
参考書	言語聴覚療法 臨床マニュアル	協同医書出版社	9500円
	ことばの障害の評価と指導	大石敬子編 大修館書店	2001年 2400円
【評価方法】 出席、実習先の評価、症例報告 および症例発表の総合評価	【履修上の留意点】 実習日程、病院（施設）は、実習先との相談の上決定する		